

台風シーズン到来!



猛暑の八月が終わり、九月となりました。この時期は、皆さんもご存じのとおり台風季節です。この社内報を作成している際も台風九号が猛烈な勢力で沖縄、九州の近海を北上しています。沖縄・九州はかなりの暴風雨にはいる予測です。そのあと台風十号が発生し、北上しているそうです。

昨年は、千葉も大変な被害となりました。今年も同様な台風、豪雨となった場合、コロナ禍の影響も加味されますので十分すぎるほどの警戒が必要となるでしょう。

そこで、先月号にも掲載しましたが自分の自宅周辺の災害が起きた場合の危険度を認識していただきたいと思っています。

スマホでも簡単に把握できる「ハザードマップ」を紹介したいと思います。とりあえず注目すべき災害被害としては、台風、集中豪雨による被害のなかで

①大雨で河川が氾濫した場合の浸水被害 近くに河川がある

②大雨で下水道や側溝、排水路だけでは降った雨を処理できなく浸水

※内水被害 ないすいひがい . . . 内水 ないすい . . . とは、河川の水を外水（がすい）と呼ぶのに対し、堤防で守られた内側の土地（大がすいでいる場所）にある水を内水と呼びます。大雨が降ると、下水道や側溝、排水路だけでは降った雨を流しきれなくなることがあります。このように、内水の水はけが悪化し、建物や土地、道路が水に浸水する被害を「内水被害」といいます。

この二点は必須で調べましょう。

このほかにも道路の冠水で通行止めになったりした場合の予測などがありますので必要だと思えば、調べておいてください。水害だけでなく家屋損害や地震の際の避難場所の確認、また近隣の避難所などもこの機会に確認しておきましょう。災害は、いつ何時おこるか予測できません。自分の命を守るために万全の対策をしておきましょう。



国土交通省が提供しているハザードマップには、
・防災に役立つ災害リスク情報などを地図上に重ねて表示できる「重ねるハザードマップ」
・住んでいる地域の防災情報を検索できる「わがまちハザードマップ」
の2種類があります。



近日中にアンケートと同じようにご自身の住まいの災害に対する危険度を調査しますので時間のある時にハザードマップを閲覧しましょう

基本的に「わがまちハザードマップ」で自分の住んでいる県・市町村を入力するとその市町村で作成しているハザードマップになります。



↑指定した市町村で知りたい情報の一覧が出てきます

これでそれぞれの公開URLをクリックするとハザードマップが表示されます。



市町村で形式が異なりますが、市町村の地図が表示されて色分けになっていきます。自分の住まいを見て浸水の度合いがどの程度かを把握してください。

1m以上
50cm以上1m未満
20cm以上50cm未満
10cm以上20cm未満

※浸水深10cm未満の箇所は表示していません。

↑習志野市の場合

内水氾濫

＜前提条件＞
・降雨：1時間最大雨量 15.3mm
・積雪：1,000年に1回程度の積雪
・排水施設：正常に機能
（習志野市が令和2年に作成）

この地図は、これまでに経験したことのない想定し得る最大規模の大雨が市川市域に降り、下水道や側溝があふれて内水氾濫が起こった場合に、浸水が予想される範囲とその程度を示したものです。浸水の深さは地盤の高さを基準にしています。

↑市川市の場合、降雨の前提条件を設けてあります。このような市町村もあると思いますが、その条件での浸水度合を調べましょう

水の深さ

水の深さが0.5～3.0m未満の区域
水の深さが0.5m未満の区域

